

## 第2回草津市廃棄物減量等推進審議会 会議録

### ■日時：

令和元年12月23日（月） 10：00から12：00まで  
（10：00～11：00 審議／11：05～12：00 クリーンセンター施設見学）

### ■場所：

草津市立クリーンセンター 管理・啓発棟2階 研修室

### ■出席委員：

天野委員〔会長〕、松村委員〔副会長〕、金谷委員、柴田委員、  
池田委員、権田委員、黒田委員、卯田委員

### ■事務局：

藤田部長、岡田副部長〔環境経済部〕  
中島課長（クリーンセンター所長）〔資源循環推進課〕  
黒澤係長、石松主査、矢野主査〔資源循環推進課〕

### ■傍聴者：

なし

## 1. 開会

---

### 1) 挨拶：事務局

それでは、定刻より少し早いですが、ただ今から、第2回草津市廃棄物減量等推進審議会を開催させていただきます。

本日は、年末の大変お忙しい中、委員の皆さまには御出席を賜り、誠にありがとうございます。

まず、開会に当たり、天野会長、御挨拶をお願いします。

### 2) 挨拶：会長

皆さん、おはようございます。

12月23日という年末の大変お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。

本日は、現行計画における施策の実施状況と評価および今後の方向性という議題、それから、ワークショップの実施についてという議題の2つの議題について御審議していただ

いた後、今回はこのセンターで実施するというので、施設見学を行います。このセンターは昨年3月から新しく稼働した施設となっていて、私も前の施設は何回か見学に来させてもらったことがあるのですが、新施設は初めてなので、とても楽しみにしています。

市内から搬入されたごみがいろいろなごみ種別にどのように処理をされているのか、実際の現場を委員の皆さまに御覧いただいた上で、今後の議論の一助にいただければと思います。

ぜひ実際の現場を御覧いただいた上で、忌憚のない御意見をどんどんお寄せいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 3) 第1回審議会を欠席し、今回初めて出席する委員（金谷委員、黒田委員）の紹介

## 2. 議事

---

### 1) 現行計画における施策の実施状況と評価および今後の方向性（家庭系・事業系廃棄物）

#### 【事務局】

<資料1・2 現行計画における施策の実施状況と評価および今後の方向性（家庭系・事業系廃棄物）について説明> 資源循環推進課

#### 【会長】

ありがとうございました。

それでは、ただ今のことに关しまして、御質問、御意見、どうぞ御自由によろしくお願ひします。いかがでしょうか。

少し確認なのですが、(資料に記載されている) ○と△と×の○は実質で効果も十分あったという意味なのでしょうか。それとも、実施しているという意味でしょうか。△が「一部実施」、または「効果が十分ではなかった」と見なされていて、実施して効果があった場合と実施したけれども、効果がまだあまり確認できていない場合では、○と△の間ぐらいになるのかと思うのですが、その辺りは微妙な判断なのでしょうか。難しそうですね。

例えば、実際に厨芥類が発生抑制の啓発により、1人当たりのごみ量が減っているというところまで確認されているのか、まだ、そこまではちょっと確認できていないのか、その辺りはいかがでしょうか。

## 【事務局】

こちらの○につきましては、事業が実施しているものに○をさせていただいていますが、まだその評価までには至っていない状況です。

## 【委員】

今の件に関連するのですけれども、やはり評価の分かりやすさからしますと、○と△と×をそれぞれ「実施済み」、「一部実施済み」、「実施できなかった」として、あとは、そのように△の所に効果のことは入れないほうがすっきりするかなと思うというのが一つです。

もう一つは、「実施済み」と「一部実施」と評価を分けるのであれば、この施策のところに、ある程度、どこまでやるのかと、そのようなものがないと区別が分かりにくいと思うのです。今年はこれでいいかと思うのですが、今後どのくらいやるかということに記載すると良いと思います。

例えば、1-⑥の「環境教育の推進と出前講座の推進」のところもある程度されているわけですね。ですから、これが△になっているということの、例えば、1-①との違いなど。このようにするということはおそらくこのくらいはもっとやりたかった、やるべきだけれども、全部できなかったということでしたらと思うのです。ということは、その部分の情報が近くにあったほうが良いし、「昨年並み」などと何かあったほうが、市民の方も見て分かりやすいのかなと思いますので、その辺りは事務局で検討されたらと思います。

もう一個は、×がついているところなのですが、例えば、2-①で「ごみ処理の有料化の検討」となっていますね。検討という言葉の意味合いなのですが、ごみ処理有料化について情報収集も検討中なのではないかという気はするのです。

また、×と△の区別もよく分からないところで、2-⑦や⑧など、他にも検討というものがありますね。

例えば、2-⑦も「リユース衣類の活用システムの構築と検討」となっていますが、「リユースショップの増加やインターネット上での売買取が広がっているため、未検討」と書かれていて、これから検討そのものがあまり必要ないのではないということが背景にあるような気がするのです。この次もですが、検討した上で、あまり必要性、緊急性などが認められないと思います。それは検討に入るのではないかと。そうしますと、△と×の区別というものは少し検討されたほうがいいのではないかなという気が少しします。

## 【会長】

「実施済」と「実施していない」は、はっきりと区別できると思うのですが、今、御議論いただきましたように「一部実施」、または、「検討中」ぐらいのほうがいいのかなという気もします。検討しているところは検討しているということで、実施するかどう

かはまだ検討の上で議論していくということで、そのような分け方で、「実施する」「一部実施」、または「検討中」「実施していない」という方がすっきりと分けられるのかなと思います。

今、お話がありましたように、効果を測るのは難しいので、効果がどうかはあまり分類には入れないほうが分かりやすいかなと考えます。本当に今の御指摘のとおりだと思います。

### 【委員】

では、評価および今後の方向性ですので、一連の評価はあるけれども、×に関しては、今後の方向性としては、どのような方向性を持っているのか、するのか、しないのか、これはやらない、できなかったのか、2つの評価と方向性がありますので、2つにちなんだ形に書いていかれたほうが分かりやすいと思います。

### 【会長】

そのような意味では、×に関しては、今後、一切、実施する可能性がないというものだけに×をして、あとは△でまた議論を深めていく、検討していくと。そのような形にしたほうが前向きな項目がたくさん出てきていいのかなという感じですね。

他にはいかがでしょうか。

どこからでもお気づきになった点などありましたら、御意見をお願いします。

あとは、細かいところなのですが、2-③、④、⑤の生ごみ処理コンポストのところで、③は段ボールコンポストの販売を行っていて、販売実績も書かれているのですが、④と⑤で、今後、普及啓発に取り組むので、今のところ×になっているのですが、この辺りの関係性はどのような解釈となるのでしょうか。

要するに、段ボールコンポストの販売実績があって、一定量それを買っている人はいるけれども、段ボールコンポストで出てきたコンポストの使い道などが確保されていないという趣旨なのでしょうか。

### 【事務局】

会長がおっしゃったとおり、2-④につきましては、イメージとしまして、個人単位で段ボールコンポストを活用していただいて、家庭で使っていただくという面に対して普及啓発を進めるという意味です。

### 【事務局】

2-④と⑤につきましては、例えば、段ボールコンポストでできた堆肥やそれ以外の仕組みをつくってできた堆肥を社会の中でどう循環させていくかというところが施策の趣旨です。これについては、例えば、市民農園や学校農園での堆肥の利用という部分につ

いてはできていますが、各家庭の中での堆肥の循環に限っていますので、2-④と⑤の評価としては、まだ×の段階です。

**【会長】**

要するに、2-④は家庭単位で、2-⑤は地域単位のような感じですか。

**【委員】**

そうです。堆肥化システムの構築ということがありますので、地域や市民農園、学校農園を介した、そのような大きな循環システムの検討を進めたいという状況です。

**【会長】**

そうしますと、2-③を（家庭、個人）、2-④と⑤を（地域）などと付記して、まとめたほうが分かりやすいかなという印象ですね。

**【委員】**

とても細かいのですが、1-①の「3010 運動+」について、この「+（プラス）」はどのような意味がありますか。

**【事務局】**

プラスにつきましては、本市では健幸都市宣言をしまして、まず、野菜から食べようということであったり、空腹時に飲酒をせずにまず食べてから飲酒をしよう。そういう意味でプラスとしています。

**【委員】**

この施策、現行計画での各施策の文言があるのですが、それぞれについての目標などというものは特に現行計画の中では明示はされていないのですか。明示されていますか。

**【事務局】**

現行計画では、この施策が二十幾つ、十幾つ列挙されているというところで、各施策のところを、先ほどのどこまでやるかなどと、これをやったらこうなるという目標値の設定は、現状はありません。

**【委員】**

そうしますと目標がないと、逆に「実施」と「一部実施」の区別がどの時期にどのようになっているのかが出てくると思うのです。

ですから、例えば、この○、△、×という仕組みをすれば、例えば、施策上、

計画上は、具体的なこの手の目標はないけれども、行政内部として自己目標というか、この程度やりたいというのを出されたほうが、それに比べるとこうなっているから△なのだ、という説明が可能かなと思いますので、そこはもう少し検討されてもいいと思います。

1個1個きっちりと数字でやると非常に負担が掛かりますので、善し悪しだとは思いますが。

#### 【会長】

そうですね。この表ですと施策と実績と評価しかありませんので、今後の方向性というタイトルの中の「方向性」がどこにあるのかが、すぐに理解するのは難しいと思います。確かに1個1個を書くのも大変なのですが、一定実施しているものを引き続き継続していくのか、もっと数字にするのか、ちょっとメリハリをつけた方が良いのではないのでしょうか。全部やらなくてもいいと思うのですが、やはり重点施策がたくさんある中で幾つか絞り込んだほうが実施しやすいですので、少しメリハリをつけて、この項目については継続しながらもっと進めたい、この項目は難しいのでもう少しばらばら検討するなど、そのような文言を少しだけ入れていただくと、まさに今後の方向性が見えてくるのかなという感じがします。

では、資料1・2につきましてはいろいろと意見がありましたので、事務局でまた調整していただければと思います。

### 2) ワークショップの実施について

#### 【事務局（コンサル）】

<資料3 ワークショップの実施について説明> 計画策定業務委託業者（中外テクノス株式会社）

#### 【会長】

ありがとうございます。

ただ今の説明につきまして、御質問、御意見等がありましたら、どこからでも結構ですので、よろしくお願ひします。

#### 【委員】

これは、出前講座的にもう少し各学区、各地域に小さなグループをつかって、例えば、まち協や社協、老人会などという組織に働き掛けて、講座というものがあるのですよね。講座の中身は、最近、これもした、あれもしたという感じでやり尽くして探しているわけです。そのような中で、小グループで、小単位でのワークショップをしなければいけ

ないと思うのです。アミカホールのような大きなところでやっても、出席する人が限定的で効果があまりないと思うのです。もっと地域に出前で行き、そのような勉強会、講座などを開催したほうが身になるのではないかと思うのです。そのようなことは可能なのでしょうか。

例えば、〇〇学区に〇〇月〇〇日に講座に来てくださいという声が掛かったら、そこから誰か来てくださるのですか。

#### **【事務局】**

そうですね。今、御案内させていただいたこちらのワークショップにつきましては、市と委託業者とで一緒に行かせてもらうという枠の中でさせていただきますので、その回数は2回としています。一方で、市の職員が地域に出向く出前講座につきましては、申込みがあれば、日時を調整の上、市職員が伺います。

市のごみの状況やごみの出し方の解説というやり方でさせていただいているのですが、そこをグループワーク方式でさせていただいているというところは、おっしゃっていたら、御要望がありました団体様と調整の上、できると思います。

#### **【委員】**

そういうやり方をもっと進めたほうが私は効果があると思うのです。あまり大きな場所で多くの方を集めてやるということは、私はあまり効果がないと思うのです。

#### **【事務局】**

出前講座の中では、市職員が講師になるのですが、今回のワークショップは、みんなで話していただくグループワークのようなものを考えています。

今後、メニューを考えさせていただきながら、内容を提示させていただくことは可能かと思います。

#### **【会長】**

先ほどの資料1-②、③、④辺りですが、既に地域の出前講座というのはいろいろな形で実施しているところで、今御議論していただいたように、単に啓発だけではなく、そのような講座に出席された市民の方からの御意見を頂く形で、今回、このワークショップをきっかけにして、ここで得られたやり方を、今後、それぞれの地域へ実際に市民の方にも啓発だけではなく、市民の方からも意見を出していただける仕組みを反映させるきっかけにさせていただけると良いと考えます。やはり単発で終わってしまうと、一回やりましたということで、どうしても終わってしまうケースが多いので、今、貴重な御意見を頂いたものは、ぜひこのワークショップでと考えます。思ったようにいかないことも出てくると考えますので、今後引き続き、小さな地域を対象とした小さな規模の出前

講座にも今回のワークショップの成果を経験として活かしていく形にしていれば、やる価値が出てくるのではないかとこのころですね。

あとは、いかがでしょうか。

**【委員】**

これは、市民への周知というのは、広報くさつなどに掲載されるのですか。

**【事務局】**

周知の方法については、広報くさつや、ホームページ等を考えています。

**【委員】**

1回あたり20～30人で2回開催するのですね。広報で出ただけだとなかなか集まらないのではないかとこのころがします。

例えば、ある程度の期間があつて、特にあまり応募がない時にはちょっと声掛けをするなどということも現実的には必要なのではないかなと思います。そこは何か考えておられますか。

**【事務局】**

「ごみ問題を考える草津市民会議」がありますので、そういったところでも声掛けを行っていこうと考えています。

**【委員】**

あともう一つは、対象が草津市民となっているのですけれども、ここは狙いかけをするのですよね。家庭系ごみと事業系ごみがありますが、あくまでも家庭系ごみについて考えているという理解でいいですか。

と言いますのは、事業系ごみについても含めるのであれば、草津市在住、在勤という形で事業者の方の考えというのもあり得るのかなと思うのです。市民といいますか、家庭系のほうに絞ってやるということであれば、市民でいいかなと。このワークショップは家庭系ごみを想定したものだと考えていいのですか。

**【事務局】**

委員がおっしゃるように、事業系ごみも考えていますので、その辺りの表記、対象者については、事務局で調整・検討させていただければと考えています。

**【委員】**

そこは家庭系ごみのほうに絞るという手はあると思います。だから、これだったら市



民でというのがいいかなと思います。

**【事務局】**

その辺りはテーマに合わせて対象者に御提供したいと思います。ありがとうございます。

**【委員】**

本来、事業系ごみの方が、こういうのを周知徹底すると、逆に効果が出てきたりすると思うのです。

**【会長】**

もし、事業系ごみの分野からの参加者が一定数お越しいただけたら、そういう人達でグループをつくって、事業系の中でそのテーマを決めて議論をしていただくのも非常に貴重な機会かなと思います。

他にいかがでしょうか。

2つの会場でそれぞれ1回ずつという計画でしょうか。

**【事務局】**

はい。

**【委員】**

このワークショップの話から少し外れますが、草津市では不法投棄はありますか。

**【事務局】**

草津市でも不法投棄はあります。市としてはパトロールなどを行いながら、早期回収しているところです。

**【委員】**

傾向として増えていますか、それとも減っていますか。

**【事務局】**

不法投棄のごみ量は、減っている状況です。

**【委員】**

私は個人的に思うのですが、例えば、電気製品の古いものを電気屋さんに持っていくとお金を取られました。ああいうものをもう少し草津市の条例か何かで、草津市は無料

などと、そのような思い切ったことができるのかできないのか、そういう案があるのでしょうか。やはり全国に先駆けてそういうことをしないとまちはきれいにならないと思うのです。人のモラルばかりを優先して考えていたらなかなか解決しない問題だと思うのです。

もう一つは、市民の声を聴くのでしたら、ごみ集積所についてが必要だと思います。集積所の新設や補修等に係る費用について、草津市では補助金を出していますね。その補助金を利用して集積所の整備をやっているところは良いのですが、ナイロン袋を上からぶら下げて、網をかけている所などもまだまだたくさんあると思います。それによってまちの美観なども損なわれると思うのです。きちんと、簡単にできることから先にやっていったほうがいいのかと思います。

### 【事務局】

ごみ集積所の整備について、新設や建替えの場合の補助金の額は、補助対象事業に要する経費に2分の1を乗じて得た額とし、その額は、10万円を上限として補助しています。

### 【委員】

それを知らない人がものすごくいますので、それでお金がかかるからもうやめようなどと、つぶれかかった所でも無理して使っているわけです。町内会長を通じてPRをするなど、まちづくり協議会を通じてPRをする、あるいは、そのようなことをやるとまちがきれいになると思うのです。

### 【委員】

ブルーシートをかけたりにしているところは土地がないのですよね。それをしたいのだけれども、自分のところの範囲内でそれを置く場所がないというのです。

一時的に、全部取ってしまっって持って行ってくれたら、後でブルーシートを畳んで何もないという形になるのでということで、土地をやはり確保していただかないといけないという町内会さんもたくさんあります。補助金の制度などは、ほとんどの方は御存知だと思います。

町内会長さんなど最初にいろいろなことを市ではこのように補助金がこれだけあります、このようなものにはこのようなものがありますという説明も全部していただいています。町内会長さんもしっかりと勉強していただくことも必要だと思います。けれども、ブルーシートをかけておられるのは、もう土地がないというのが事実を私が目の当たりにしていますので、何とかならないのかなといつも思っています。

**【委員】**

ブルーシートは年数が経つと破れてくるのです。このため、出す時に網みたいなもので枠を置くのです。終わったらそれを畳むのです。

**【委員】**

畳んでも、そこにずっと網があるわけでしょう。

だから、そのようなところでまちの景観に問題があると思うのです。

いろいろとそこの町内会の担当というか、場所的なことでも難しいことを、一切排除して徹底するという事はなかなか難しいなと思います。

**【会長】**

その辺りは、写真などを見たほうがすぐに状況が理解できると思いますので、(ワークショップの内容における『解説！市のごみの現状について』では、)資料配布またはPowerPointのスライドによる説明をする等、なるべく写真をたくさん使っていただいて、現状がどのような状況か目に見える形で知っていただくことが非常に有用な情報になるかと思います。

ぜひ、その辺りをやれる範囲でなるべく見て分かるようなもの、写真や最近の若い人は動画など、なるべく目で見て分かるように、できる範囲で進めていただければと思います。

**【委員】**

やはりワークショップの狙いというのは、全体的に広げずに、いわゆる生ごみの方向性というものをやっていかれたほうが良いと思います。先ほど言われたように、不燃ごみなどの問題にまで広げていかれるなど、ワークショップの中でその話し合いまでやっていかれる予定なのですか。

それは非常にまとまりにくくなるので、ある程度、どこかでポイントを絞られたほうがいいかなと思います。

**【事務局】**

委員のおっしゃるように、確かに、ある程度絞った形で枠組みは必要かなと思いますので、テーマはこちらで予め設定して、進めていきたいと思います。ただ、そのグループの中でいろいろな意見が出るかとは思いますが、同じような形で報告を頂く中で、当審議会の中でのいろいろな検討材料としていただけたらと思います。

**【会長】**

もし各回 20～30 名お集まりいただけて、3 グループから 5 グループ、ディスカッショ

ンの場が持てたら、事前に今実施しているものを2つ掲げていますが、テーマを5つぐらい増やすと良いと思います。テーマを用意していただいて、興味のある方に、そのグループに集まっていただいて、それぞれのテーマごとに議論をしていただくといいかなと思います。

取りあえずグループに分かれて、みんなでいろいろと相談をしてくださいと言われても、なかなかまとまらないと思いますので、ある程度テーマを用意して、そのテーマに興味を持つ方が、なるべく集まって集中的にいろいろな意見を寄せていただくというパターンになってくれればいいかなと思います。

今、御指摘がありましたように、やはりある程度絞り込んだテーマを幾つか掲げた上で、もしそれのないテーマで議論したいという部分が出てきたら、それはそれでオーケーですので、御用意いただければと思います。

それでは、本日予定していました議事の1番と2番を終えましたので、本日の議事は終了です。

また、次回以降、審議を進めさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、事務局から連絡事項がありましたら、よろしくをお願いします。

#### **【事務局】**

委員の皆さま、慎重に御審議いただき、誠にありがとうございました。

次回につきましては、施策の方向性ということで、御協議いただくことになるのですが、市民・事業所アンケート調査およびごみ組成調査の結果が出てまいりますので、速報ベースで御報告をさせていただき、各調査結果における課題について協議いただこうと考えています。

次回の審議会は、誠に勝手ながら、1月30日木曜日の10時から開催させていただきたいと考えています。

場所につきましては、前回の会場と同じく、草津市役所4階の行政委員会室で開催いたします。どうぞよろしくをお願いします。

事務局からの連絡事項は、以上となります。

なお、この後、次第5番の施設見学をしていただきます。お荷物はこの部屋に置いていただいて結構ですが、貴重品についてはお持ちいただくようよろしくをお願いします。

それでは、11時5分から施設見学をスタートします。